Sales Force Assistant 顧客深耕 AO ユーザー操作マニュアル

11.案件管理

目次

11-1.案件管理の全体図	
11-1-1.案件情報とコンタクト情報	
11-1-2.案件登録から受注・失注までの流れ	
11-1-3.案件情報のデータ分析	
11-1-4.案件情報と売上情報	
11-2.案件情報を登録する	10
11-2-1.案件情報を登録する	
11-2-2.案件情報登録項目一覧	1
11-3.案件情報を一括登録する	13
11-3-1.顧客検索画面から一括登録する	1
11-3-2.一括登録項目一覧	10
11-4.案件情報を参照する	16
11-4-1.案件情報を参照する	
11-4-2.案件情報タブ一覧①	1
11-4-3.案件情報タブ一覧②「進捗集計」	
11-4-4.案件情報タブ一覧③「進捗表示」	
11-5.案件情報を編集する	20
11-6.案件情報を削除する	21
11-7.案件情報を統合する	22
11-8.コンタクトマップ	24
11-8-1.コンタクトマップを閲覧する	
11-8-2.コンタクトマップ一覧	20
12-9.便利な機能	29
12-9-1.サクセスアシスト	
12-9-2.サクセスナレッジ	
12-9-3.サクセス通知	
12-9-4.受注確度の自動更新機能	3.

11-1.案件管理の全体図

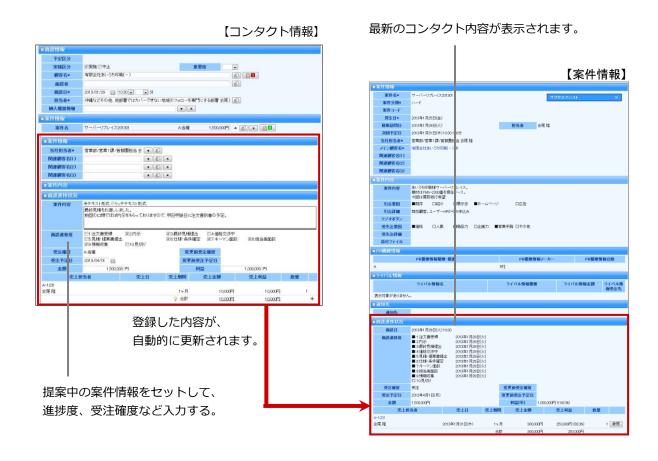
11-1-1.案件情報とコンタクト情報

Sales Force Assistant 顧客深耕 AO では、案件(物件)の進捗管理を行うことができます。案件の進捗状況は、コンタクト履歴の内容を自動的に更新する仕組みとなっていますので、わざわざ案件情報を開いて進捗状況を更新する必要がありません。

具体的には、コンタクト履歴を登録する際に対象の案件をセットします。そうすると進捗状況の項目が下側 に追加されます。コンタクト成果に応じて案件の進捗状況を登録します。

登録すると、案件情報の「コンタクト進捗状況」欄が自動的に更新されます。この進捗状況は最新のコンタクト履歴を表示させていますので、最新の進捗状況を把握することができます。

なお、案件情報の進捗状況を「コンタクト履歴情報一覧」から参照することができ、どのような流れ(コンタクト情報)で案件が進んでいるのかを把握することができます。



✔ 補足

• Sales Force Assistant 顧客深耕 AO では案件管理基準として2種類の基準を用意しています(下図) 各基準によって登録する箇所が異なり、また利用できる分析機能が異なります。

【受注日基準】注文書や契約書が到達した日を基準として、進捗(見込)管理を行う場合 【売上日基準】売上が計上された日を基準として、進捗(見込)管理を行う場合 ※両方の基準を利用することも可能。

【コンタクト情報画面】



売上日基準

11-1-2.案件登録から受注・失注までの流れ

案件管理を行なうための具体的な登録事例についてご紹介します

■受注した場合

案件発生 案件情報を登録 [参照]: 「11-2.案件情報を登録する」



コンタクト コンタクト情報を登録【確度:情報】

1回目

コンタクト コンタクト情報を登録【確度:有力】

2 回目

案件の進捗度、受注確度や見込み金額などを入力します。

コンタクト コンタクト情報を登録【確度:有力】

3 回目



コンタクト コンタクト情報を登録【確度:受注】

4 回目



コンタクト情報を登録したタイミングで、受失注要因画面が表示 されます。受注要因・詳細を入力します。

受失注要因登録





■手動の場合

受失注要因画面上に、売上見込から売上実績を登録することが できます。

■自動の場合

自動的に作成されます。

売上実績登録

■失注した場合

案件発生 案件情報を登録 [参照]: 「11-2.案件情報を登録する」



コンタクト コンタクト情報を登録【確度:情報】

1回目

コンタクト コンタクト情報を登録【確度:有力】

案件の進捗度、受注確度や見込み金額などを入力します。

2 回目

コンタクト コンタクト情報を登録【確度:有力】

3 回目



コンタクト コンタクト情報を登録【確度:失注】

4 回目



受失注要因登録 コンタクト情報を登録したタイミングで、受失注要因画面が表示

されます。失注要因・詳細を入力します。

11-1-3.案件情報のデータ分析

登録された案件情報から、どの案件が、いつ、いくらで受注できるかの「受注見込み」あるいは「売上見込み」を集計して表示することができます。

予算情報をもとに、売上見込情報ならびに受注案件情報の売上実績データを対比させて、差額や達成率など、 売上の金額・利益の推移を一覧表示することができます。



売上実績と受注見込みから年間の売上見込みを分析します。

[参照]:「12.分析」-「予実績分析」

11-1-4.案件情報と売上情報

売上実績データの管理・分析を行いたい場合、提案中の案件が「受注(成約)」すると、売上見込み分は 売上実績として登録しなければなりません。

Sales Force Assistant 顧客深耕 AO では、コンタクト情報に登録した売上見込項目を簡単に売上実績情報として登録することができます。登録された情報は売上実績データとして集計・分析することが可能になります。



● 重要

• 貴社の運用によって売上実績の登録方法が変わります。貴社のシステム管理者へご確認ください。

売上実績を手動で登録する

- 1. まず、コンタクト情報を登録します。
 - ※コンタクト情報の入力手順については、「05.日報」を参照してください。
- 2. 次に、対象の案件情報を表示させます。



- 3. 「コンタクト進捗状況」カテゴリ内の売上明細項目の 登録 ボタンをクリックします。 「売上実績」新規登録画面が表示されます。
- 4. 売上実績を登録します。

※売上見込み情報として登録された内容がそのままコピーされた状態で表示されます。

5. 最後に 保存 ボタンをクリックします。

登録が完了すると、 <u></u> 登録 ボタンから 参照 ボタンに変わり、登録した売上実績情報を参照することが可能です。

売上実績を自動で登録する

● 重要

- 「受注」状態の受注確度を選択してコンタクト情報を保存すると自動登録されます。
- システム設定画面より、売上見込情報の自動転送機能が ON の場合に適用されます。

▲ 注意

- 自動登録されると売上見込欄はロックされます。
- 1. コンタクト情報を登録します。受注確度は、受注の確度を選択して 保存 ボタンをクリックします。 自動的に売上実績が作成されます。

■確認の方法

自動登録されると、案件情報の売上見込欄には 参照 ボタンが表示され、自動登録された売上実績を参照することが可能です。

※下記の図では、「受注」というキーワードが受注状態であると設定されており、保存後に売上実績データが 作成されます。



※自動転送された売上情報は、編集不可となります。

✔ 補足

売上見込欄を修正するためには、自動登録した売上実績データを削除してください。なお、修正した後、 売上実績データは手動にて登録する必要があります。

■手順

- 1.修正したい案件情報を開き、「参照」ボタンをクリックして売上実績を開きます。
- 2.売上実績を削除します。
- 3.対象のコンタクト情報を修正します。
- 4.修正が完了しましたら、再度案件情報を開きます。「参照」ボタンが「登録」ボタンに変更されていますので、「登録」をクリックして売上実績を登録します。

11-2.案件情報を登録する

11-2-1.案件情報を登録する

案件情報を登録します。

- たメニューから「**案件情報**」を選択します。
 「案件情報検索」画面が表示されます。
- 新規登録 ボタンをクリックします。
 「新規作成」画面が表示されます。
- 3. 必要な項目を入力します。※各項目は「11-2-2.案件情報登録項目一覧」を参照してください。
- 4. 最後に、 保存 ボタンをクリックして内容を保存します。

✔ 補足

• システム設定、またはオプション設定画面から、CSVデータ読み込みによる一括登録も可能です。

11-2-2.案件情報登録項目一覧

✔ 補足

- 項目名称はシステム設定画面から自由に変更可能なため、記載されている名称と異なる場合があります。また、 貴社運用によって利用されていない項目、追加された項目があります。
- 条件を満たすことで表示される自由項目の表示条件については、システム管理者にご確認ください。

項目	説明		
案件情報			
	テキストボックスに直接案件名を入力します。		
案件名	※予約語を利用して、固有の内容に置き換えることができます。		
	※システム設定の設定により、初期値が設定されている場合があります。		
案件分類	プルダウンメニューより案件分類名を選択します。		
案件コード	テキストボックスに直接案件コードを入力します。		
	テキストボックスに発生日を直接入力してください。または、🛅をクリックすると、		
発生日 	【選択カレンダー】が表示されますので、発生日を選択してください。		
	担当者を選択します。新規作成時は初期値として自動的にログインユーザー名が表示		
	されます。担当者を変更する場合、選択方法は2つあります。		
 当計担当者	①キーワード入力して表示された候補から選択		
311723 4	[参照]:「02.共通操作」-「入力候補機能を使う」		
	②「当社担当者」テキストボックス右の心をクリックして選択		
	[参照]:「 <u>02.共通操作</u> 」-「社員を選択する」		
	顧客名を選択します。選択方法は2つあります。		
	①キーワード入力して表示された候補から選択		
	[参照] : 「 <u>02.共通操作</u> 」 - 「入力候補機能を使う」		
 メイン顧客名	②「メイン顧客名」テキストボックス右の「むをクリックして選択		
	[参照]:「 <u>02.共通操作</u> 」-「顧客を選択する」		
	※ + ボタンをクリックすると、顧客情報の新規登録画面を表示します。		
	保存後、顧客情報がセットされます。		
	[参照]:「 <u>07.顧客・パーソン</u> 」-「7-1-1.顧客情報を登録する」		
	関連する顧客名を選択します。選択方法は2つあります。		
	①キーワード入力して表示された候補から選択		
 関連顧客名(1)	[参照]:「02.共通操作」 - 「入力候補機能を使う」		
関連顧客名(2)	②「関連顧客名」テキストボックス右の「型」をクリックして選択		
 関連顧客名(3)	[参照]:「02.共通操作」-「顧客を選択する」		
	※ + ボタンをクリックすると、顧客情報の新規登録画面を表示します。		
	保存後、顧客情報がセットされます。		
	[参照]:「 <u>07.顧客・パーソン</u> 」-「7-1-1.顧客情報を登録する」		

項目	説明		
案件内容			
	具体的な案件の内容を入力します。テキスト形式とリッチテキスト形式のいずれかる		
案件内容	選択し入力します。		
	[参照]:「 <mark>02.共通操作</mark> 」 – 「リッチテキスト形式で入力する」		
引合要因	案件が発生した要因・情報を表す項目をチェックボックスより選択し、チェックを		
	入れます。		
引合詳細	案件が発生した要因・情報を具体的に入力します。テキスト形式とリッチテキスト		
	形式のいずれかを選択し入力します。		
	[参照]:「 <u>02.共通操作</u> 」 – 「リッチテキスト形式で入力する」		
受失注要因	※新規登録時は表示されません。		
	受注・失注した要因をチェックボックスより選択します。		
受失注詳細	※新規登録時は表示されません。		
	テキスト形式とリッチテキスト形式のいずれかを選択し入力します。		
	[参照]:「 <u>02.共通操作</u> 」 – 「リッチテキスト形式で入力する」		
添付ファイル	ファイルを添付します。		
[参照]:「 <u>02.共通操作</u> 」 – 「ファイルを添付する」			
詳細設定			
(自由項目)	貴社で追加された項目です。必要に応じて入力してください。		
通知先			
	この設定は、重要案件通知機能を利用するための設定です。登録する案件に対して		
	コンタクト情報が入力されると、セットされた社員に通知されます。		
	[参照]:「01.トップページ」		
通知先	通知先を設定します。		
	[参照]:「03.オプション設定」		
	「自分を追加」ボタンをクリックすると、自動的にログイン社員がセットします。		
※システム設定画面から、CSVデータ読み込みによる一括登録も可能で			
コンタクト進捗状況(自動更	新)※新規登録時は表示されません。		
	最新のコンタクト内容が自動表示されます。		
詳細設定			
(自由項目)	貴社で追加された項目です。必要に応じて入力してください。		
閲覧制限			
見月堅与牛川7日	閲覧制限を設定します。		
閲覧制限	[参照]:「02.共通操作」-「閲覧制限を設定する」		

11-3.案件情報を一括登録する

11-3-1.顧客検索画面から一括登録する

複数の顧客に対してまとめて案件情報を登録します。

🕕 重要

- ・ 案件情報一括登録を行うと、入力値に基づいた案件情報を顧客情報ごとに一括作成します。 作成する際、案件名に顧客情報ごとの情報を引き継ぐ「予約語」を利用することができます。
- **1**. 左メニューから「**顧客情報**」を選択します。

「顧客検索」画面が表示されます。

- 2. 一括登録する顧客情報の条件を絞り込み、 検索 ボタンをクリックします。 「検索結果」画面が表示されます。
- 3. 一括登録する顧客情報をチェックします。
- 4. ☑チェックした情報▼ をクリックして「一括登録:案件情報」を選択します。表示された顧客情報全ての場合は、 検索結果すべて▼ から「一括登録:案件情報」を選択します。 「案件情報一括登録」画面が表示されます。
- 5. 必要な項目を入力します。
 - ※各項目は「11-3-2.一括登録項目一覧」を参照してください。
- 6. 最後に、 一括登録 ボタンをクリックします。 対象の顧客情報に対して案件情報が登録されます。

11-3-2.一括登録項目一覧

✓ 補足

項目名称はシステム設定画面から自由に変更可能なため、記載されている名称と異なる場合があります。また、貴社運用によって利用されていない項目、追加された項目があります。

項目	説明	
案件情報一括登録項目設定		
案件名	テキストボックスに直接案件名を入力します。	
	予約語を利用して、固有の内容に置き換えることができます。	
	※システム設定の設定により、初期値が設定されている場合があります。	
案件分類	プルダウンメニューより案件分類名を選択します。	
案件コード	テキストボックスに案件コードを直接入力してください。	
発生日	テキストボックスに発生日を直接入力してください。または、🔟をクリックすると、【選	
	択カレンダー】が表示されますので、発生日を選択してください。	
当社担当者	担当者を選択します。自動的にログインユーザー名が表示されます。	
	選択方法は2つあります。	
	①キーワード入力して表示された候補から選択	
	[参照]:「02.共通操作」 - 「入力候補機能を使う」	
	②「当社担当者」右の心をクリックして選択	
	[参照]:「 <u>02.共通操作</u> 」-「社員を選択する」	
	※納入機器情報から一括登録する場合、「顧客情報の当社担当者をセットする」「納入機	
	器情報の営業担当者をセットする」「(任意に) 指定する」のいずれかを選択します。	
関連顧客名(1)	関連する顧客名を選択します。選択方法は2つあります。	
関連顧客名(2)	①キーワード入力して表示された候補から選択	
関連顧客名(3)	[参照]:「02.共通操作」-「入力候補機能を使う」	
	②「関連顧客名」右の「□」をクリックして選択	
	[参照]:「02.共通操作」-「顧客を選択する」	
案件内容		
案件内容	具体的な案件の内容を入力します。テキスト形式とリッチテキスト形式のいずれかを選	
択し入力します。		
	[参照]:「 <u>02.共通操作</u> 」-「リッチテキスト形式で入力する」	
引合要因	案件が発生した要因・情報を表す項目をチェックボックスより選択してチェックを入れ	
	ます。	
引合詳細	案件が発生した要因・情報を具体的に入力します。テキスト形式とリッチテキスト形式	
	のいずれかを選択し入力します。	
	[参照]:「 <u>02.共通操作</u> 」 - 「リッチテキスト形式で入力する」	

項目	説明	
·····································		
(自由項目)	貴社で追加された項目です。必要に応じて入力してください。	
通知先		
	この設定は、重要案件通知機能を利用するための設定です。登録する案件に対してコン	
	タクト情報が入力されると、セットされた社員に通知されます。	
 通知先	[参照]:「01.トップページ」	
地 和元	通知先を設定します。	
	[参照]:「03.オプション設定」	
	「自分を担当に追加」をクリックすると、自動的にログイン社員がセットします。	
閲覧制限		
 閲覧制限	閲覧制限を設定します。	
风气的以	[参照]:「 <u>02.共通操作</u> 」 – 「閲覧制限を設定する」	
ターゲットリストに追加する		
ターゲットリスト	─括登録する案件をターゲットリストに追加することができます。 叩をクリックして	
	ターゲットリストを選択してください。	

11-4.案件情報を参照する

11-4-1.案件情報を参照する

登録された案件情報を参照します。

左メニューから「
 案件情報」を選択します。

「案件検索」画面が表示されます。

2. 各タブメニューから参照する案件情報を絞り込みます。

「案件情報検索」の詳細については、「02.共通操作」 - 「検索する」を参照してください。

「部署別担当者別」「メイン顧客別」「案件分類別」「受失注別」「月別新規件数別」タブの詳細については「11-4-2.案件情報タブ一覧①」を参照してください。

「進捗集計」タブの詳細については、「11-4-3.案件情報タブ一覧②「進捗集計」」を参照してください。 「進捗表示」タブの詳細については、「11-4-4.案件情報タブ一覧③「進捗表示」」を参照してください。 「ターゲットリスト」の詳細については、「02.共通操作」を参照してください。

「サクセス分析」の詳細については、「12.分析」を参照してください。



3. 参照する案件名を選択します。

案件情報画面が表示されます。

サクセスアシストやサクセスナレッジについては、「12-9-1.サクセスアシスト」を参照してください。

11-4-2.案件情報タブ一覧①

「部署別担当者別」「メイン顧客別」「案件分類別」「受失注別」「月別新規件数別」



クリックすると、対象の案件情報一覧が表示されます。

番号	項目	説明	
	部署 表示したい案件情報の対象である担当者部署を絞り込みます。		
	社員	表示したい案件情報の対象である担当社員を絞り込みます。	
	メイン顧客別タブのみ表示されます。表示したい案件情報の顧客名を検索しま		
1	顧客名	右のテキストボックスに「顧客名」「顧客名かな」のキーワードを入力して 検索 ボ	
•	タンをクリックします。		
		※キーワードは単一指定です。	
	受注、失注扱いの	表示する案件情報の「受注」「失注」扱いの案件について絞り込みます。	
	案件	◎ 表示する、◎ 表示しない、のいずれかを選択します	

11-4-3.案件情報タブ一覧②「進捗集計」



番号	項目	説明	
	部署表示したい案件情報の対象である担当者部署を絞り込みます。		
	社員	表示したい案件情報の対象である担当者を絞り込みます。	
1	発生日	表示したい案件情報の発生日をプルダウンから選択、指定します。	
	受注確度	対象の受注確度を選択します。	
案件分類 対象の案件分類を選択します。		対象の案件分類を選択します。	

11-4-4.案件情報タブ一覧③「進捗表示」



番号	項目	説明		
	部署	表示したい案件情報の対象である担当者部署を絞り込みます。		
	社員	表示したい案件情報の対象である担当者を絞り込みます。		
		「報告者」、「当社担当者」のいずれかを選択します。		
	受注予定日 	表示対象の受注予定日を選択します。		
1	受注確度	対象の受注確度を選択します。 対象の案件分類を選択します。 重要コンタクト進捗度に指定された進捗度が未チェックである案件情報のみ表示させたい場合、チェックします。		
_	案件分類			
	重要コンタクト			
	進捗度	「重要進捗度」とは、受注確度の条件を満たしていない進捗項目(重要コンタクト		
		進捗度の抜け漏れ)にアラートを表示する機能です。		

11-5.案件情報を編集する

案件情報を編集します。

たメニューから「 案件情報」を選択します。
 「案件検索」画面が表示されます。

- 2. 各タブメニューから編集する案件情報を絞り込みます。
- 3. 参照する案件情報を選択します。 案件情報画面が表示されます。
- **4.** 編集 ボタンをクリックします。 編集画面が表示されます。
- 5. 必要項目を編集して、最後に 保存 ボタンをクリックします。

✔ 補足

• 複数の案件情報を一括で更新することができます。

[参照]:「02.共通操作」 - 「一括更新する」

11-6.案件情報を削除する

案件情報を削除します。

● 重要

- ・ 対象の顧客情報に関連する情報がある場合、関連付けが解除されます。あらかじめ情報の メンテナンスを行って下さい。
- 削除権限がない場合、「削除」ボタンは表示されません。

▲ 注意

- 案件情報を削除すると、復旧することはできません。
- 1. 削除する案件情報を表示させます。
- 2. |編集|ボタンをクリックします。編集画面が表示されます。
- 3. 削除 ボタンをクリックします。

✓ 補足

・ 該当の案件に対してコンタクト履歴の登録がある場合、案件情報を削除すると関連付けが解除されます。そのため、

リンクをクリックしてもエラーが発生します。

削除する前に新しい案件を再度セットしてください。なお、関連付けは解除されますが、案件情報の案件名は 保持しますので、検索やテキスト出力時に利用することができます。

一括削除機能を利用して、一度に複数の案件情報を削除することができます。

[参照]:「02.共通操作」 - 「一括削除する」

11-7.案件情報を統合する

重複する案件情報を統合(マージ)します。

❶ 重要

- ・ 統合とは、対象の2つのデータを1つのデータに集約する機能です。1つ1つの項目について、どちらの項目を反映させるか選択することができます。なお、関連する(紐付く)コンタクト情報も自動的に統合されます。
- 1. 左メニューから「**全案件情報**」を選択します。 「案件検索」画面が表示されます。
- 検索画面から重複する情報を検索します。 「検索結果」画面が表示されます。
- 3. 統合する2つの案件情報をチェックします。
- 4. ☑チェックした情報▼ をクリックし、「統合」を選択します。「案件情報統合フォーム」画面が表示されます。
- 5. 上下どちらの情報を反映するか選択します。



※左側の上下に並んだ情報は、上段は右側の案件情報の項目、下段が左側の案件情報の項目です。

統合後に残したい情報をクリックして右側に移動できます。案件情報の横にある「→」で左右を入れ替える ことができます。

- ※直接入力することも可能です。
- 6. 保存 ボタンをクリックして内容を保存します。

✓ 補足

- 添付ファイル、履歴情報の項目は全てコピーされます。
- 2つ以上の統合は実施できません。
- 左右に表示されるデータを反対に変更することはできません。

11-8.コンタクトマップ

『コンタクトマップ』の概要

実績コンタクトに紐づく案件情報のパーソンと社員のコンタクト状況を可視化する機能です。

コンタクト履歴からパーソン情報と社員情報を紐付けて一覧表示します。

案件ごとに「顧客の誰と自社の誰が」、「何回面識があるのか」関連付けを一目で把握するためのツールです。



- ・コンタクトマップは「コンタクト情報」と「パーソン情報」が使用できない場合、メニュー表示 されません。使用機能の設定については、システム管理者へお問い合わせください。
- ・閲覧制限がかかっている情報は、閲覧できません。

11-8-1.コンタクトマップを閲覧する

案件参照画面または他機能からの閲覧方法について説明します。

案件参照画面からコンタクトマップを閲覧する

- 1. 案件情報の参照画面を表示させます。
- 2. | 情報参照 | ボタンをクリックします。

参照できるメニューが表示されます。

3. メニューから「コンタクトマップ」を選択します。



4. コンタクトマップ画面が表示されます。



他機能の参照画面からコンタクトマップを閲覧する

- 1. 日報またはコンタクト情報などの参照画面を表示させます。
- 2. 顧客名の横にある「 🜚 」ボタンをクリックします。⇒メニューが表示されます。
- 3. メニューから「コンタクトマップ」を選択します。

【日報画面】



4. コンタクトマップ画面が表示されます。

リスト画面やターゲットリストからコンタクトマップを閲覧する

- 1. 案件情報のリスト画面またはターゲットリスト画面を表示させます。
 - ※リスト表示の詳細は、「02.共通操作」-「リスト表示」を参照してください。
 - ※ターゲットリストの詳細は、「02.共通操作」-「ターゲットリスト」を参照してください。
- 2. 参照する案件名の行に表示されている コンタクトマップ ボタンをクリックします。



3. コンタクトマップ画面が表示されます。

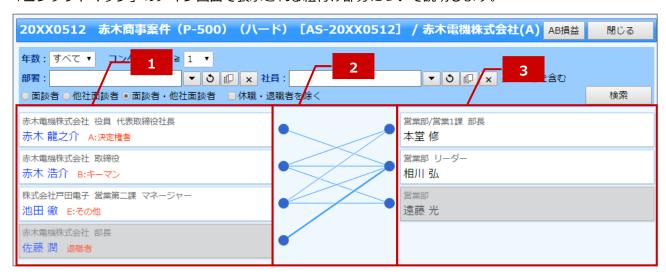
11-8-2.コンタクトマップ一覧

コンタクトマップのメイン画面構成や、操作方法について説明します。

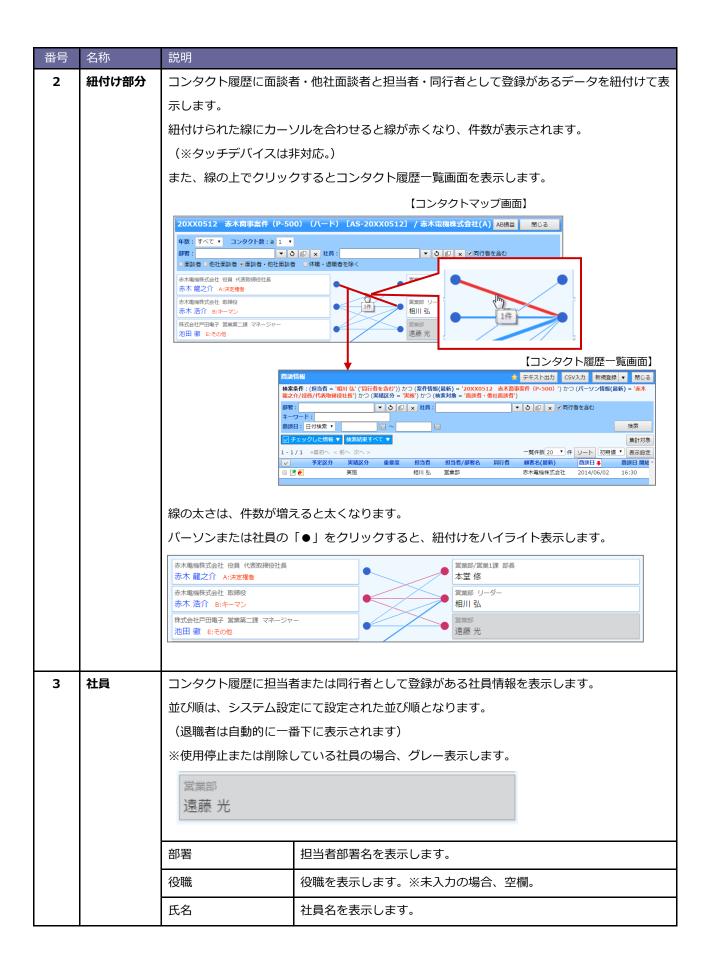


番号	項目名	説明	
1	案件名	参照している案件名と顧客名を表示します。	
	/顧客名	表示内容:案件名・案件分類・案件コード / 顧客名・顧客ランク・顧客コード	
2	AB 損益	クリックすると AB 損益が表示されます。	
		※AB 損益の詳細は、「 <u>18.アクティビティ分析</u> 」を参照してください。	
		※AB 損益閲覧許可に設定されている場合、表示されます。	
3	絞込条件	検索条件をセットして絞り込むことができます。	
		※絞込条件にセットした内容は記憶されます。	
		年数:選択年数以内の商談情報を絞り込みます。	
		コンタクト数:選択数値以上の商談情報を絞り込みます。	
4	紐付け	コンタクト履歴から面談者・他社面談者と担当者・同行者を紐付けて表示します。	

「コンタクトマップ」のメイン画面で表示される紐付け部分について説明します。



番号	名称	説明	説明	
1	パーソン	コンタクト履歴に面談者・他社面談者として登録があるパーソン情報を表示します。		
	情報	並び順は、パーソンランク設定順 > パーソンランクなし > 退職扱いのパーソンランクの中		
		で、かな順となります。		
		※退職・休職者の場合、	グレー表示します。	
		退職・休職とするパ-	-ソンランクはシステム設定で設定されています。	
		設定については、システム管理者へお問い合わせください。		
		赤木電機株式会社 部長		
		佐藤 潤 退職者		
		顧客名	顧客名を表示します。	
		所属名 所属名を表示します。※未入力の場合、空欄。		
		役職を表示します。※未入力の場合、空欄。		
		氏名リンク 氏名をクリックすると、パーソン情報の参照画面が表示されます。		
		パーソンランク	パーソンランクを表示します。※未入力の場合、空欄。	

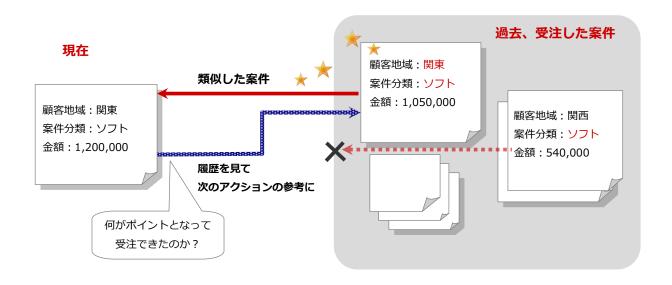


12-9.便利な機能

12-9-1.サクセスアシスト

サクセスアシストとは

サクセスアシスト機能とは、類似した成功事例(受注案件)をピックアップする機能です。受注に至るまでのプロセスを疑似体験することで、進んでいる案件の営業活動に活かすことができます。



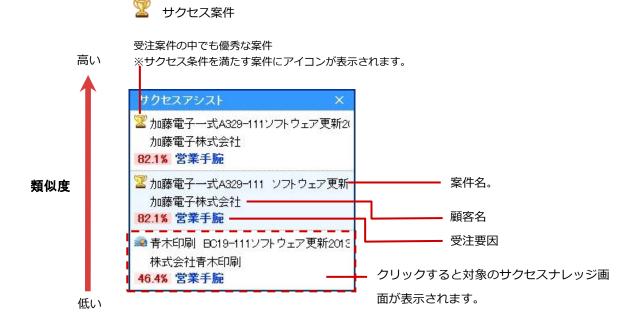
サクセスアシストは、選択された案件情報に対して類似度の高い順(上位5つ)に表示します。



サクセスアシスト表示内容と類似条件

表示される内容と条件は以下のとおりです。

■サクセスアシストの表示内容



■サクセスアシストの類似条件

サクセスアシストは、類似とする条件を「**顧客情報**」項目と「**案件情報**」項目から選択し、その項目の類似性の高い順に上位 5 案件を表示します。

条件項目

顧客情報	案件情報
顧客地域	案件分類
企業業種	引合要因
引合要因	金額
資本金	(自由項目)
年商	
従業員数	
(自由項目)	

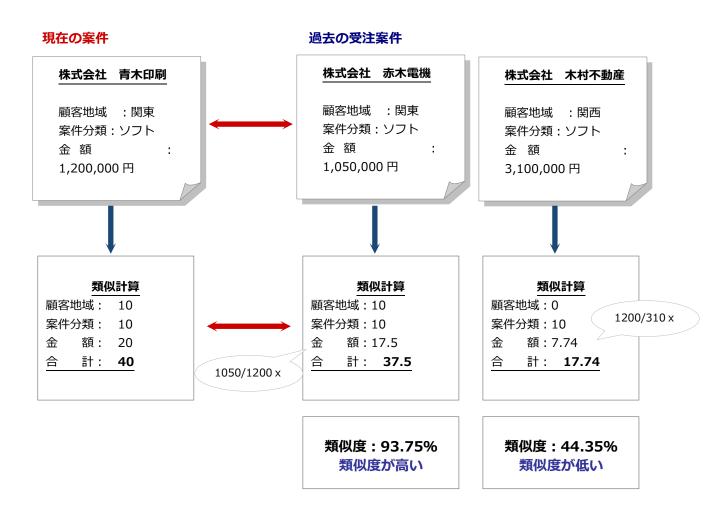


- 類似度が30%以下の案件情報は、トップ5以内に入った場合でも表示されません。
- 類似条件は、システム設定画面から設定します。詳細については、貴社のシステム管理者様にご確認ください。

類似度の計算例

類似度の計算例は次のとおりです。類似項目は「顧客地域」「案件分類」「案件金額」を選択して、それぞれのウエイトを次のように決定しました。

類似条件	
顧客地域	ウエイト: 10
案件分類	ウエイト: 10
案件金額	ウエイト: 20



12-9-2.サクセスナレッジ

サクセスナレッジとは

受注した案件について、「受注金額」や「コンタクト期間」だけなく、「コンタクト効率」「訪問効率」など受注までの営業活動を分析する機能です。

サクセスナレッジの一覧には、成功事例となるサクセス条件と実際の値がメーターチャートによって表示されます。この案件のサクセス度合いを簡単に確認することができます。

なお、1つ1つのサクセスナレッジを元に、サクセス分析画面では、「どのような要因で受注しているのか」、「どのくらい受注に至るまでに手間がかかっているか」など様々な切り口から分析することが可能です。 サクセス分析の詳細については、「12.分析」を参照してください。

サクセスナレッジを参照する

サクセスナレッジを参照します。



- 「サクセスナレッジ」ボタンは、受注した案件のみ表示されます。
- **1**. 左メニューから「**二案件情報**」を選択します。

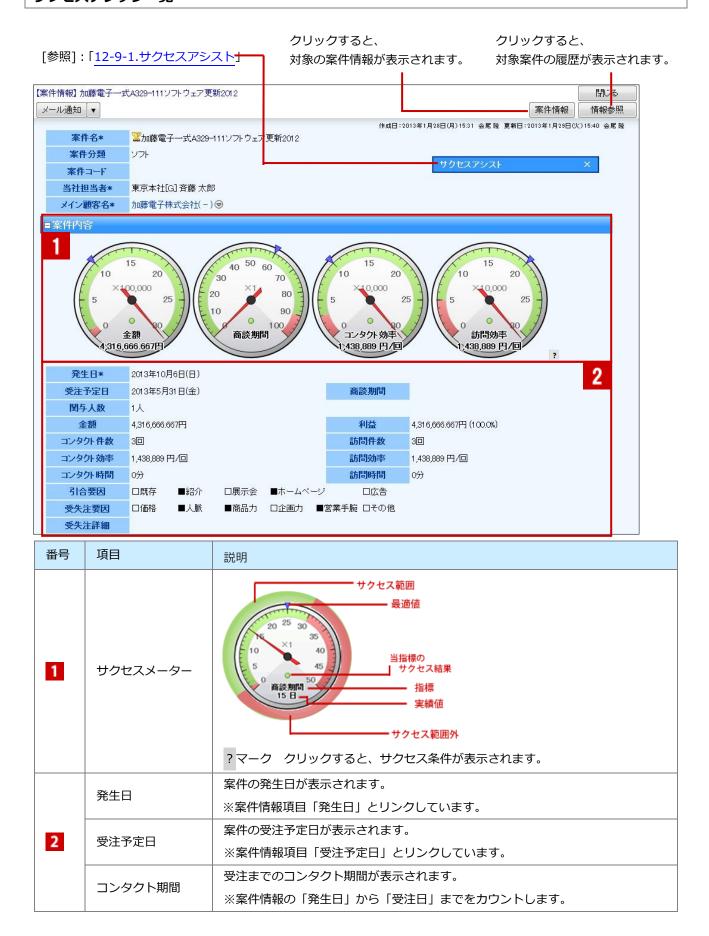
「案件検索」画面が表示されます。

- **2.** 対象の案件情報の条件を絞り込み、 検索 ボタンをクリックします。 「検索結果」 画面が表示されます。
- 3. 対象の案件情報を選択します。 案件情報画面が表示されます。
- **4.** サクセスナレッジ ボタンをクリックします。

「サクセスナレッジ」画面が表示されます。



サクセスナレッジ一覧



番号	項目	説明				
	金額	案件の金額が表示されます。				
		※案件情報項目「金額」とリンクしています。				
	利益(率)	案件の利益(率)が表示されます。				
		※案件情報項目「利益(率)」とリンクしています。				
	関与人数	その案件に関与した社員人数が表示されます。				
		対象コンタクト情報の担当者の数をカウントします。				
	コンタクト数	その案件に対するコンタクト数が表示されます。				
		※予定、中止を除く実施のコンタクト情報が集計対象です。				
		※表示対象に「案件情報」を選択している場合に表示されます。				
	訪問数	その案件に対する訪問件数が表示されます。				
		※予定、中止を除く実施のコンタクト情報(訪問件数にカウントするコンタクト目的				
		キーワードを選択)集計対象です。				
		※表示対象に「案件情報」を選択している場合に表示されます。				
	コンタクト効率	1 コンタクトあたりの受注金額が表示されます。				
2		※営業担当者が 1 コンタクトあたりどれだけ利益を生んでいるか確認でき、また受				
2		注までにどれだけ手間がかかっているのかを確認できます。				
	訪問効率	1 訪問あたりの受注金額が表示されます。				
		※営業担当者が 1 訪問あたりどれだけ利益を生んでいるか確認でき、また受注まで				
		にどれだけ手間がかかっているのかを確認できます。				
	コンタクト時間	受注までのコンタクト時間が表示されます。				
		※予定、中止を除く実施のコンタクト情報が集計対象です。				
	訪問時間	受注までの訪問時間が表示されます。				
		※予定、中止を除く実施のコンタクト情報(訪問件数にカウントするコンタクト目的				
		キーワードを選択)集計対象です。				
	引合要因	案件の引合要因が表示されます。				
		※案件情報項目「引合要因」とリンクしています。				
	受失注要因	案件の受失注要因が表示されます。				
		※案件情報項目「受失注要因」とリンクしています。				
	受失注詳細	案件の受失注明細が表示されます。				
		※案件情報項目「受失注明細」とリンクしています。				

12-9-3.サクセス通知

サクセス通知とは、受注した案件のうち優秀な結果で受注できた成功事例 (サクセス案件) を通知する機能です。参考となるサクセス案件をタイムリーに共有することができます。

サクセス通知は、登録したコンタクト情報がアクセス条件に合致すると指定された社員に通知されます。 通知はトップページ画面の右側からスライドして表示され、一定時間が経過すると非表示になります。但し、 再びトップページを開くと通知される仕組みとなっています。(最大 50 件まで表示) 通知を消すためには、マウスをあわせ、サクセスナレッジを閲覧する、あるいは「閉じる」ボタンをクリックしてください。(3 日後に自動消去)



✔ 補足

- ・ サクセス条件と通知対象の社員は、システム設定画面から設定します。詳細については、貴社のシステム管理者 にご確認ください。
- サクセス通知は、サクセスナレッジを閲覧する、あるいは「閉じる」ボタンをクリックしない限り、通知は継続して表示されます。
- NI Collabo Smart 製品を同時にご利用の場合、NI Collabo Smart のポータル画面上にも表示されます。

12-9-4.受注確度の自動更新機能

受注確度の自動更新機能とは、コンタクト進捗度に応じて受注確度が自動的に更新される機能です。この機能を

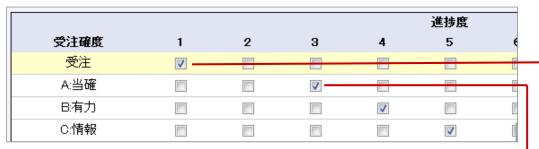
利用することで、営業マンが意識せず進捗に応じた受注確度の管理が可能です。

● 重要

- この機能を利用するためには、システム設定画面よりあらかじめ設定が必要です。
- この機能を利用すると、以下の操作が制限されます。
 - ・受注確度の編集
 - ・コンタクト進捗度の一括更新

例

【システム設定画面】



「3:最終見積提出」をチェックすると自動的に受注確度が「当確」になる



「1:注文書受領」をチェックすると**自動的**に受注確度が「**受注」**になる。

コンタクト進捗度	☑1:注文書受領 < ☑5:見積·提案書提出 ☑9:情報収集	図2:内示 ■10:見切り	■ 2:最終見積提出 ■ 6:仕様・条件確認	ローフ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	☑8:担当者面談
受注確度	受注確度 受注		変更前受注確度		

○ 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

○ 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

○ 発行

2016年11月28日 第5版

株式会社 N1コンサルティング

サポートデスク

E-mail: support@ni-consul.co.jp Fax: 082-511-2226

営業時間:月曜日~金曜日 9:00~12:00、13:00~17:00(当社休業日、土・日・祝日を除く)